



23 日から夏休みが始まります



明日で1学期(授業日数は73日)が終了します。コロナ禍の中、感染対策を行いながら、様々な教育活動が実施できたことが良かったと思います。これも、保護者や地域住民の皆様のご理解とご協力があったからだと感じています。ありがとうございました。

さて、いよいよ23日から夏休みが始まります。今年の夏休みは、8月24日までの33日間となります。楽しく、そして、安全に過ごしてほしいと思います。ただ、全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。コロナ以前のような夏休みとはいかないかもしれませんが、それでも、せっかくの夏休みですので、何か家族で楽しい思い出ができることを願っております。また、子どもたちには、夏休みだからこそできることを目一杯楽しんでもらいたい、と思っています。

児童の皆さんには、8月25日(木)の「2学期始業式」に、元気に登校してきてほしいです。

着衣泳

7月14日(木)、1・2年生が着衣泳を行いました。着衣泳は何のために行うのかというと「水難事故防止」のためです。1・2年生にとっては初めての「着衣泳」で、衣服を着て水の中に入ると、とても体が重くなり、自由に動けなくなることを感じたことと思います。着衣泳で一番大切なことは、着衣のまま泳ぐことよりも、「浮き身」をとることが最も大事な行動です。いざという時は、下記のような手順で対処します。

- ・慌てないで手足の動きをできるだけ少なくして、すぐに仰向けになって「浮き身」ができるようにします。
- ・浮き身のスタイルはリラックスして力を抜けるようにすることが基本です。
- ・前後左右に多少動くことは避けられませんが、数分は浮き身でいられるようにします。
- ・助ける人は、むやみに飛び込むのではなく、ペットボトル等を投げ入れます。

(可能ならば、ペットボトルに紐のようなものを結び投げ入れます。)

- ・ペットボトルを持ったら、お腹から胸のあたりに両手で抱えます。(ラッコのように)

この夏休みに、水難事故等が起こらないことを祈っています。

